特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

2023 (令和5) 年度事業計画及び予算

l 2023(令和 5)年度事業計画

【都岐沙羅ビジョン 2018】

- ※私たちが重点的に取り組むべきことを方針としてまとめたものです。2018(平成30)年度より、 この方針に基づいて事業を展開しています。
- I 地域の将来を冷静に見据え、今まで以上に<u>分野の壁を超えた横断的な</u>取り組みを増やす。

▷特に「福祉」と「教育」の分野で、地域との多様な協働・連携を促す。

Ⅱ これからの時代に即した<u>組織体制</u>のあり方と<u>担い手の育成システム</u>を 探究し、その実践を積極的に促す。

▷地域・社会の変化に対応し、持続可能性を高める「変革」を積極的に働きかける。

Ⅲ 地域内外の<u>人材の相互交流</u>の裾野を広げつつ、交流密度を高めるための新たな仕組みを探究・実践する。

▷多様な人材が参画・協働して地域課題の解決にあたる仕組みを模索・試行する。

【重点方針 2023】

※都岐沙羅ビジョン 2018 を踏まえつつ、2023 年度は以下の方針を重視して事業を展開していきます。

- ①分野を横断した民の活動・事業を促進させる「HUB機能」を充実させる。
 - ▷現在の活動拠点は、2024年度以降は使用できなくなるため、新たな活動拠点の確保を2023年中に目処を立てなくてはなりません。ただ、これからの社会を考えた場合、新たな活動拠点は、単なる事務所機能だけでなく、DX やユース世代とのコラボ等も含め、分野を横断した民の活動・事業を促進させる機能を併せ持つことが重要です。
 - ▷私たちは、新たな活動拠点の確保・整備を機に、分野を横断した民の活動・事業を連携・ 協働を促進させる「HUB機能」の強化を、ハード・ソフト両面から推進していきます。
- ②地域の持続可能性を高める仕組み・制度への進化をより強く後押しする。
 - ○村上地域の人口減少は想定を超えるスピードで進展しており、コロナ禍や自然災害の発生によって、地域課題の具現化は加速度的に早まっています。
 - ▷地域の持続可能性を高めるためには、各々の地域・住民が主体となった取り組みだけでなく、公的な仕組みや制度の進化・アップデートも不可欠です。変革のスピードがもっと上がるよう、今まで以上に各方面での後押し・働きかけに注力していきます。

1. 特定非営利活動に係る事業

特定非営利活動に係る事業の実施方針

多様な主体・分野・地域の中間に立ち、相互の連携・協働を円滑に促す潤滑油となって能 動的に地域の元気づくりと持続可能性の向上に繋がる事業を開拓・実施していく。

1-2 実施する事業

1) 住民活動支援事業

村上地域内の住民活動を質的・量的に高める各種支援を実施する。

【主な事業】

- ①住民活動支援窓口の開設
- ②事務支援事業

2) コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス支援事業

コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス(以下、CB/SB)の立ち上げや、ネットワー ク型事業のプロデュース・コーディネート等を地域内外で実施する。

- 【主な事業】 ① CB/SB の立ち上げ支援
 - ②ネットワーク型の CB/SB のプロデュース・コーディネート事業 等

3) 地域ツーリズム開発・プロモーション事業

グリーン・ツーリズムや着地型観光、都市農村交流等の地域ツーリズムを推進していくた めに、新たなプログラム開発や各種プロモーション事業等を実施する。

- ①村上地域グリーン・ツーリズム協議会事業の推進及び事務局業務の実施
- ②村上地域への誘客につなげるための各種プロモーション事業の実施
- ③朝日まほろば夢農園事業の推進
- ④新たな観光・ツーリズムの開発・コーディネート

4) 地域づくり事業のコーディネート

地域づくりに関する各種事業のコーディネート等を実施する。

【主な事業】

- ①課題解決型事業の育成に係る事業
 - ②地域まちづくり組織への各種支援
 - ③地域おこし協力隊/集落支援員への各種支援
 - ④林業体験プログラムのコーディネート
 - ⑤地方公共団体等から受託した地域づくりに関する事業の実施
 - ⑥小規模多機能自治の推進・普及

5) 商品開発・販路開拓支援事業

農商工連携や多様な主体・分野が連携して行う新商品・新サービス開発や販路拡大のため の各種支援を実施する。

【主な事業】 ①商品開発・販路開拓に関する各種支援

6)情報受発信事業

地域内外の地域づくりに関連する情報の収集・発信を多様な媒体を通じて実施する。

【主な事業】 ①インターネットを活用した情報発信

7) 講師派遣・視察受入

地域内外からの依頼に応じて、各種講演会や研修会などへの講師を派遣する。

当組織や地域内の CB/SB 事業者、各種地域づくり団体への視察受入・コーディネートを行う。

2. その他事業

2-1 その他事業の実施方針

まちづくり・地域づくりに関する情報提供の一環として、関連する書籍等の販売を行う。

2-2 実施する事業

1)物販事業

まちづくりに関連する出版物等の委託販売を行う。

II 2023 (令和 5) 年度活動予算

2023 (令和5) 年度 活動予算書

2023年7月1日~2024年6月30日 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 2022年度決算 科目・摘要 2023年度予算 増 減 老 経常収益 330,000 24,000 1)受取会費 306,000 正会員受取会費 75,000 90,000 15,000 30人 (2022年度:25人) 賛助会員受取会費 231,000 240,000 80人(2022年度:77人) 9.000 2) 受取寄付金 0 3) 受取助成金等 3,951,143 50,000 -3,901,143 ①受取民間助成金 3,951,143 50,000 【新潟ろうきん福祉財団】利子補給 -3,901,143 ②受取行政補助金 4) 事業収益 (特定非営利活動に係る事業) 28,917,600 26,895,070 2,022,530 ①住民活動支援 260,428 -260,42 ②CB/SB支援事業 ②CD/3D又返す末 ③地域ツーリズム開発・プロモーション事業 ④地域づくり事業のコーディネート 950,000 21,957,600 16,406,000 3,500 ⑤商品開発支援事業 10,000 6情報受発信事業 ⑦講師派遣・視察受入 4,846,092 5,000,000 153,908 その他事業収益 1,000,000 5) 事業収益 (その他事業) 20,000 1,100 18,900 18,900 20,000 (1) 物販事業 1,100 -7,46 7,468 6) その他収益 0 受取利息 0 16 受取配当金 400 -40雑収入 7,052 7,05 経常収益 31,160,781 29.317.600 II 経常費用 1) 事業費 25,781,864 24,029,500 -1,752,36 ①人<u>件費</u> 15,828,921 15,965,500 136,579 給与手当 7,291,500 6,086,000 -1,205,500 事務局職員人件費(常勤3名) 臨時雇用賃金 238,400 1,172,000 933,600 学生アルバイト含む 907,500 法定福利費 1,059,021 151,52 社会保険料事業主負担分 7,800,000 事業スタッフ報酬 7,240,000 560,000 ②その他経費 9,952,943 8,064,000 1,888,94 事業費 9,952,943 8,064,000 -1,888,94 2)管理費 3,292,852 3,303,300 10,448 1,214,829 1,400,300 人件費 185,47 696,050 791,400 事務局パート職員(経理1名) 給与手当 147,535 156,900 労働保険・児童手当拠出金 法定福利費 7,164 20,000 健康診断、他 福利厚生費 432,000 退職金積立 364,080 退職金積立 1,903,000 ②その他経費 2,078,023 -175,023 220,000 税理士決算支払報酬 外注費 220,000 397,300 400,000 職員移動交通費/事務局長交通費 旅費交通費 2,700 6,676 事務用品費 6,000 -67 4,274 5,000 726 消耗品費 2,670 3,000 印刷費 330 名刺/封筒/パンフレット等 27,319 2,681 電話代・メール便・切手 通信費 30,000 15,000 使用料及び借料 14,500 500 広告宣伝費 0 7,000 10,000 3,000 会議費 35,000 35,000 NPO活動総合保険 保険料 5,357 接待交際費 28,000 支払手数料 6,000 村上市観光協会、村上地域GT協議会、 諸会費 13,450 28,000 14,550 15,00 15,000 契約用収入印紙 租税公課 53,533 支払利息 50,000 -3,53 当座貸越利息 法人税・住民税及び事業税 70,081 70,000 -8 1,221,500 消費税納付額 1,000,000 221,500 雑費 6,363 10,000 3,63 3) 予備費 500,000 500,000 経常費用 計 29,074,716 27,832,800 -1,241,916 当期正味財産増減額 -570,166 2,054,966 1,484,800 前期繰越正味財産額 655,275 2,710,241 2,054,966 次期繰越正味財産額 2,710,241 4.195.041 1,484,800